常磐毎日
発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用 1,210
編集部専用 1,269

各種パネル製造販売
建築材委託加工
有限会社 東洋木工
平市鍛子町三三
電一八三五・一二二六

明日のお天気

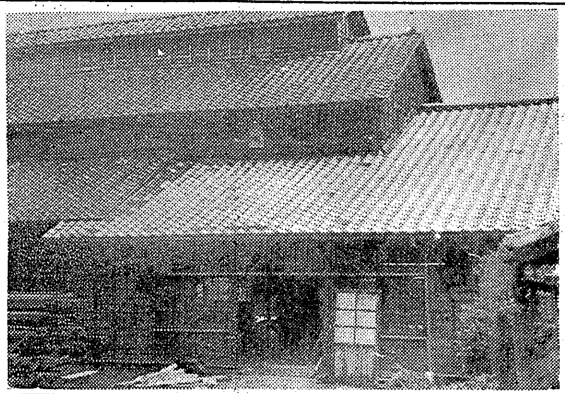
「今晩」北東の風、曇りで一時にわか雨。「明日」北または東風、はじめ曇り一時にわか雨、日中から晴間出る。

陽の当らぬ地帯に光を

劇専門の〃平座〃建設

桑原製菓工場を改装して

平市禰宜町の元桑原製菓工場を改築して演劇専門の劇場をつくることになり、その名も明治時代に平文化をおう歌した〃平座〃の名をそのままに旧盆興業をこけら落しに発足することになつた。



平市東部地区の滕太一郎、穂三郎、馬目重蔵の三氏が発起人代表となつて〃光は東方から〃と東部地区発展、商店街振興、文化の陽の当らぬ中小工場地帯に楽しい娯楽を目的に早くから劇場設立を計画していたが、このほど資本金二百五十万円で市内禰宜町の元桑原製菓工場を改築して劇場をつくることになり、このほど工事に着手した劇場の名称も明治時代に東北一の劇場として発足し、平文化を謳歌した〃平座〃の名をそのまゝに発足することになり、八月上旬の旧盆に開館する。

元桑原製菓工場は戦時中に田辺鉄工所として建築され、その後三十一年ごろまで桑原製菓工場となつていたもので、建物の大きさはタテ二〇・九メートル（十七間）ヨコ一四・五四メートル（八間）ー建坪一五〇坪ーで四百人を収容できる大きなもの

改築設計は市内、いわき建設工業所（所長佐々木大作氏）が旧平座の様式をならつて設計中である。

鯨岡平市観光課長の話「平座をつくることについて私も相談をうけたが、東方地区の発展のために喜ばしいことだ。平座は演劇を主とし、たまには若い人たちの〃いこいの場〃に開放するためにダンスホールにもできるような設計をするようだ。七月の二十日ごろまでに完成させ、八月上旬の旧盆にコケラ落しをやることになつている」

（写真は平座に改築される元桑原工場）

四倉運転者会発足

運転手の技術練磨と親睦を計るため、四倉町内に居住する運転手約百五十名に呼び掛け、自動車運転者会の結成準備を急いでいたが、十五日午後七時から四倉小校礼法室で約二十名の運転手が集り、四倉町自動車運転者会の設立総会を開き、平警察署交通係長、同四倉派出所長らを招待して今後の同会の運営など話合つた後、次の通り新役員を決定した。

◇会長にい妻金一（仲町）◇副会長酒井康平（上仁井田）同石井保之（玉山）◇理事三浦行雄（しん町）外二十一名◇会計吉田利八。

十月一日から運転

東北特急　愛称一般から募る

十月一日から運転開始される東北特急は常磐線経由に本決りになり二十四、二十五、二十六、二十七日に試運転されることになつた。上野ー青森間を十二時間で走るという特急は現在の急行〃みちのく〃より三十分余のスピードアツプで平ー上野間は三時間六分で走ることになる。国鉄ではちかく名前を公募して決めるが停車駅は上野、み戸、平、仙台、一関、盛岡、尻内、青森となつている。ダイヤ次のとおり。

◆下り上野発一二・二〇み戸一四・〇二平一五・二六仙台一七・四六一関一九・一五盛岡二〇・五一尻内二二・四四青森〇・二〇

◆上り青森発五・〇〇尻内六・四二盛岡八・三八一関一〇・〇五仙台一一・三五平一三・五九み戸一五・三三上野一七・〇〇

七月末には着工

内郷宮の踏切立体化

内郷市が平に発展をねらつて計画する同市内町の内地内の立体交差路建設は測量工事も最終段階を迎えいよいよ七月末から着工の運びとなつた。これは同市の都市計画の一つとして取上げられたもので、常磐線が市を中断して発展を阻害しているうえに宮街道踏切は貨車の操作で絶えずしや断機が降り、車馬の通行を長時間にわたつてストツプさせるなど市民の間から苦情が出ていたところから着目されたもの。工事は県が施工主体となり二カ年の継続事業、総工費は一億五千万円が見込まれている。

この立体交差路は白水踏切付近の六号国道からこう配五%で同踏切と宮街道踏切の中間を通り大正橋から三十メートル下流の地点に抜けたもので内郷ー小野新町線（県道）のしん路となるその延長は六百二十メートル、巾員十二メートル、常磐線の真上は高さ五メートル、もちろんコンクリート舗装というすばらしいもので、内郷市のしん都市美観に一役買うわけである。またこの工事に付随して大正橋も現在地よりやや下流にコンクリート造りの永久橋としてお目見得することになる。なお今年度に着工を予定されているのはこの大正橋のかけ替えと立体交差路建設にあたる地域の家屋移転である。

マグロ二千貫水揚げ

第十一文珠丸

四倉町文珠水産KK（代表者鈴木氏）所有巻網漁業第十文珠丸（三八トン）第十一文珠丸（三六トン）は去る五月二十日母港（四倉）を出港して以来、十五日早朝宮城県塩がま港にマグロ約二千貫を初水揚げした旨の連絡が漁協組合にあつた。このマグロは一尾二十貫の大きさで漁場は宮城県磯崎三十五マイルー四十マイル附近で漁獲したもので、今後はマグロの漁期を向いて活躍される。

古河、全国大会へ

軟庭

県なん庭連盟主催の全国実業団なん庭選手権大会県予選会は十五日午前十時から平市営コートで常磐古河、水素が参加して開かれ、古河炭鉱が優勝して七月十九、二十の両日富山県高岡市で開かれる全国大会に県代表として出場する。

古河2ー1水素
常磐3ー0水素
古河2ー1常磐
◆決勝戦
古河2ー1常磐
（椎名 佐藤）4ー1（志賀 榊原）
（本田 阿部）4ー1（友部 三森）
（吉田 渡辺）2ー1（長谷川 益子）

常磐勢勝ち進む

天皇杯野球石城予選

天皇杯争奪なん武野球大会石城地区予選は十四、五の両日磐高グラウンドで開かれたが、降雨で試合不可能となつたため準決勝、決勝は十八日金坂球場で行うことになつた。一、二回戦の成績は次の通り。

◆一回戦
平ヤンガース1ー0磐城通運
全常磐11ー0失対事務所
内郷砿2ー1古河好間
常磐製作1ー0力行会
◆二回戦
平ヤンガース5ー1平コンマーシヤル
全常磐4ー0鳳城小田
鹿島砿8ー1常磐製作

浜通り水泳大会

22日四倉町で

県水泳連盟、高体連主催の浜通り水泳大会石城予選会は二十二日午前九時から四倉高プールで六校、五十名の選手が参加して開かれる種目は男子は五十、百、二百、四百メートル自由型、五十、百メートル背泳、百、二百メートル平泳百、二百メートルバタフライ、二百、八百メートルリレー、四百メートルメドレ・リレー。女子は五十、百、二百メートル自由型、五十、百メートル背泳、百二百メートル平泳、五十、百メートルバタフライ、四百メートルリレー、四百メートルメドレ・リレーとなつている。

四人組窃盗捕る

磐城　米専門に荒し廻る

磐城署は十五日、市下神白字千速無職馬目征美（二三）同市御小名馬目実（二〇）同少年A（一八）同少年B（一七）の四人を窃盗容疑で逮捕した。

同署の調べによると四名は共謀で去る五月二十日ごろから数回に亘り同市下神白農業馬目謹爾さん（五〇）方から玄米三俵を盗んだほか、同月二十八日夜同市下神白字千速の江名農協精米所から同市竹町精米業若松米一さん（四二）の玄米二斗精米二斗、丸麦二斗五升、五月三十日夜おなじく字農業佐藤定太郎さん（五七）の倉庫から玄米三俵、三十一日夜も〃氏宅から米三俵を盗み、更に昨年十二月始め江名港にテイ泊中の第五明神丸から精米二斗など合計米十俵二斗と麦二斗五升を盗み、遊興費に当てていたもの。なおこの外馬目征美は単独で自転車、農具なども盗んで売り飛ばし遊興費に当てており、このほかにも相当の余罪があるものとみられている。

同署では最近ひん発している農家荒しや、自転車ドロなども四人組の仕業とみて徹底的に追及しているが、この四人組の背後には姿をくらましている主謀者があるものとみてその行方を追つているので取調べの進展にしたがつて大掛りな窃盗団の全ボウが明らかにされるものと注目されている。

写真（上）しめやかに行われた合同社葬（下）遺体もあがらず悲しみも一しおの小野田さんの遺族達

第二の京浜化へ一歩

初の立地条件調査会開く

工業適地を調査する常磐地区立地条件調査打合会は十七日午後二時から石城財務事務所で岡崎県開発課長、仙台通産局の係官をはじめ開発関係者、石城地区五市土木関係者が集つて開き工業適地の選定、しん規工業地区立地条件B種調査について打合せを行なう。これは通産省委託で工業条件のよい地区を調査、この調査表を通産省が再調査して将来性のあるところは国庫補助を出して開発を進めるというもの。調査はA種とB種にわかれ、ABとも主に工業用水使用現況、地下水、河川水、水道、上水道、輸送施設状況、主要企業物資流動図、道路、電力需給、同消費状況、石油、石炭および天然ガスなどの資源、労働力の概況、気候および災害、文教施設などで、A工は東北開発審議会で調査中である。

全国連合小学校長会総会

金沢大会に出席して

小名浜第一小学校長　渡辺保

田のあぜの花

田植が終ると普通田のあぜに大豆を植えるのがぜん国に通じる習わしのようであるが金沢郊外の地方はいろいろの草花がたくさん植えられてある。ナデシコ、パンジーその他たくさんの花が郊外一面に育ち、つぼみ咲きつづく風景は誠に美しかつた。これも前田こうの施策の一つと聞えたが、こうの平和政策への心づくしの一つがしのばれてゆかしい限りであつた。

西田幾太郎先生誕生の地

「九十九」という村につくとこゝは西田先生誕生の地であるとか。私は未だ若かりし頃恩師沖田先生からシャニムニ「善の研究」をはじめ「働くものから見るものへ」など西田先生の哲学書をたくさん読まされた。何もわかつてはいないが、何かぼんやりと人間と哲学への憧憬を感ずるようになつた。ガイドさんの説明によると生前博士は次のような歌を詠まれたとか

▽我れ死なば故郷の山にうずもれて昔語りし友を夢みて

ほんとうに広くゆかしく尊ぶべき心情である。

和倉温泉

七尾湾岸に和倉温泉がある。湯質等かいもく分らないが、実に豊富で透明できれいな建物と和し旅のつかれをいやすに充分であつた。宿の前の海辺に高浜虚子の

家持の妻どい舟や春の海

の句碑がたつていた。

能登北端の海

青々と静かな内うらの風光をあとに北端の海、松波町に行くところりと変り黒々とした外浦の海である。岩石、老松、入江など誠によい眺めである。日和山公園によると日本一若長、栗本吉太郎氏が八十七才の老躯をモーニングに包み御出迎いただき御挨拶をいただいたことは捨てがたい感銘をうけた。

終りに

祖々水の浜をあとに平家の残えい時国家、もと宗洞宗総本山総持寺　気多神社など関西文化のあとをしのびながら、思い出多い能登の旅を終つたのであるが沿線の市町村、学校を挙げての歓迎には心深く感銘した。何はともあれ、人間の善意は善意としてすなおに味えたいものであると思つた。

水揚高グンと増える

小名浜協調べ

小名浜漁協組では五月中の定置網の水揚げ高を集計中だつたが、このほどまとまり発表した。それによるとサバ、タイなど網にかかつたのは八万七千四百三十六貫で、金額にして千三百七十八万七千八百えんの水揚げで、昨年同期に比べて一万六千三百貫、金額にして五百十七万九千えん方上回つた。とくに水揚げの多かつたのはタイの七千五百貫でこれは昨年どう期比の約四倍、六百三十三万九千えんで水揚げのトツプとなつた。次いでサバの六万貫、サメの一万三千貫となつているが、四月中の魚が思わしくなかつたので定置網の初網からの成績は千六百十九万一千えんで昨年度より約百二十万えんのみづ揚げ減となつた。

綿とふとん
ススキ
平市新川町　電422

きのう合同社葬

残る二遺体の家族に涙

去る五月八日平市赤井日そう赤井炭鉱の坑内出水事故で命を失つた上田長二郎さん（四九）ら五人の合同社葬は十五日午後二時からどう炭鉱グラウンドで遺族、炭鉱関係者約千人が参列してしめやかに挙行され全山が悲しみの色でつつまれた。田畑、大河原両参院議員、本間県議らの読む「職務のために我が山を死守した五つの霊を安らかなれ」の弔辞に遺族席からすすり泣きの声がもれ、とくに小野正二さん（三二）本田鉄四郎さん（三七）の二遺体がまだ発見されぬだけにも服に身を包んだ少野さんの妻八千代さん（二三）本田さんの妻歌子さん（三四）の両名が、いまは亡き父、夫、子の霊前に手を合せ、肩をふるわせてめい福を祈る姿には一層いたいたしいものがあり、参列した人たちの涙をさそつた。死体の上らぬ二人は作業衣、手袋、弁当箱、じ故現場の土が納棺されていた。

列車内のスリ被害二件

平市草野字下神谷農業富岡健二郎さん（五〇）は十六日朝八時ごろ常磐線下り二二三列車平駅構内でセビロ内ポケットから現金四千九百円をスられた。

また秋田市仁井田字常前会社員佐藤照夫さん（一八）も十五日二三八列車平ー長塚間でカメラ（時価一万九千円相当）を盗まれたと平鉄道公安室に届出た。

新会長に新妻常吉氏

四倉商工会

四倉町商工会通常総会は十四日午後一時から四倉町公民館に二十名の会員が集り、三十二年度決算並びに事業の報告と三十三年度予算事業計画など協議した後、委員と役員の改選を行なつた結果委員は新妻常吉、吉田正、江口勇、南川貞之助、芳賀勇、佐藤栄喜、豊田誠、鈴木一郎、吉田彌十郎、永井俊正、豊田美孝、にい妻政雄、佐藤芳之助、菅波芳正、本田文平、佐藤直之助、田中喜平、鈴木半次郎、西山藤太、寺岡章。

役員の改選は会長選出の場合は無記名投票の結果にい妻常吉八票、豊田美孝六票、佐藤直之助二票だつた。

▽会長にい妻常吉▽副会長豊田美孝▽理事寺岡章、田中喜平、佐藤栄喜、芳賀勇、豊田誠、佐藤直之助、江口勇。▽監事鈴木一郎、佐藤芳之助。

野天温泉で変死

十六日午前五時ごろ内郷市御厩町折返野天風呂大丸浴槽に年令五五才ぐらいの男が裸のまま死んでいるのを通行人が発見して内郷署に届けた。同署で身元を調べているが他に外傷なく脱衣場に同人のものとみられるカーキ色上衣、紺ズボン、鳥打帽子、コーモリ、現金十二円があり風呂入りにきて昨夜十一時ごろ窒息死したものとみられる。

磐城のパラチフス予防

磐城市では市内小中校生徒のパラチフス予防注射を次の日程で行う▽十六日…二小、三小▽十七日…一小、一中▽十八日…二中、江名小、泉小▽十九日…永崎小江名中、泉中▽二十日…鹿島小中、渡辺小、渡辺中。

川前に赤痢

川前村上桶売字小牛田農業矢内喜蔵さん長男のぶ幸さん（一七）長女公子ちやん（四）は赤痢、同字戸村田中恵子ちやん（一つ）は疫痢で十五日隔離された。

料亭
小名
電二〇二一

日本橋印
西川のかや
ふとんの
ふくたや
平二　電748

内科
小児科
後藤医院
後藤全久
平市古鍛冶町　電一〇三六

南国の夢を呼ぶ
色と香りとこの味覚
コーヒー40エン
モーニングサービス
毎朝7・30～11・00
トースト付　40円
レストラン　パール

旅館
とくし川
平市田町　電二八二

臭みのない
音のしない
衛生的な
時代の尖端を行く最新型タンク車を御利用下さい
平市役所公認
平衛生社
平（電一六〇二）四倉（電一四九）

募集
▽高級注文服裁縫師▽経験五年以上の男女　二十名
常磐更新会経理部　平市十五丁目五の三　電一九九五

丸平商店
平市郵便局裏通り
電話三三〇番

団体募集
金銀財ほうの守護神
黄金花咲く金華山詣で!!
期日　7月26日27日（2日間）
人員　600名様
費用　1490円
★平ー女川ー金華山ー江の島海猫見物ー金華山ー石巻ー平
お申込は
最寄駅又は日本交通公社平案内所

募集
一、女子事務職員　五名
一、新制高校卒、ソロバン三級以上
一、通勤可能の方
一、履歴書ご持参下さい
○雪印HBバター1/2ポンド　一三〇円
○〃スモークチーズ　〃　一六五円
○徳用マーガリン1/4　〃　二三円
○ショートニング　百グラム　二三円
火曜特売　月印奈良漬　百グラム　二五円
小名浜
平市
藤越

名をあげる楽焼き

磐女　入賞に製作意欲高める

つくる楽しさの中で致施をたかめようと……磐女の工芸科（担任椎名光男教諭）が陶器の楽焼きをはじめてから四年目になるが、その間全国工作展に入賞二回を記録し、文字通り全国一の陶器学校として名声をあげてきた。

同校が陶器の楽焼きをはじめたのが二十九年。女子高校として東北では一番最初に陶器の製造を普通授業の中に選たく科目として取り入れ、週二時間をあてて発足した。発足当時は生徒の数も少なかつたが現在は二年生百二十人、三年生が百六十人がかま場に集まり、ねん土をこね、つくる楽しみを味つている。

作品は、いろとりどりだが主に皿ものが多く、飾皿からツボ、灰皿、それに花ビン、最近では陶板も多くなり、製法の難しいといわれているネツクレスなどをつくる生徒もあり、かま場には陶器工場を思わせる製品がタナもせましと並び、これが女子生徒の作品かと思うほどの名作も見られる。二十九年からはじまつた全国学校工作展には二回目の三十年度から出品し、二回目には十点が入賞、このとき学校賞をうけて全国一の折紙がつけられ、三回目には十二点が入賞するなど、女子高校としては全国でも珍らしい存在となつた県下の高校でも喜多方工業高校ではじめているだけで女子高校としては陶器製造を科目に入れているのは磐女だけである。

製法は八百五十度の温度で焼ける楽焼きで、最初は素焼きから〝うわぐすり〟をかけて本焼きで完成するが、これが全部生徒たちの手だけで完成する。焼きがまは二つあるが、現在使つているのは直経一メートル、高さ一、一〇メートルの新がまのほうで電気がまと比べ製法は古いができた製品には電気がまには見られない素朴さがあると、学生らしい素朴な気持が焼りにむせびながら陶器と四つに組んで張切つている。

十月に入ると本格的な製造をはじめるがいまかまの修理と順備で生徒たちも授業後大童である。

（写真は釜場で作品を製理する生徒達）

公衆便所など設置

海水浴場の衛生に万全

平保健所では海水浴シーズンにそなえ六月下旬から七月上旬にかけて小名、江名、四倉など六カ所の海水浴場に臨時公衆便所やシャワー脱衣場、更衣室、調理場、簡易泊所などを設置することに十三日の観光協議会で決定した。

主な実施要領は①必要な箇所に公衆便所を設置し、従来あるものは補修をする。管理人をおいて常時汲取清掃を行うほか、殺虫剤を撒布し流水式手洗器などをもうける。②運搬車を定期に回送して塵芥を処理し、箱を設置する。③水道若しくは保健所の水質試験検査をうけた井戸を利用し井戸の場合臨時に高圧式井戸ポンプをもうける④シャワー足洗場は充分に水を供給できるような構造となるべく外部から見透しできないようにする。更衣室もこれと（じ）⑤調理場は便所より四メートル以上離し安ぜんで充分なみづを準備する。従事者は健康診断をうける⑥簡易泊所は客室十坪以上で浴しつのせつ備をして寝具は常に清けつに保つ、この他一坪以上の臨時宿泊所と海すい浴の汚染度調査を行う。

四倉観光協の行事決る

四倉町観光協会の常任理事会は十四日午前九時から四倉公民館に二十名の役員が参加して、総会の打合せと三十二年度じ業報告、並びに収支の決算報告、三十三年度じ業計画と予算案などについて協議した。本年度各部のじ業案は次の通りであるが、日程については後日の総会で決定する。（カツコ内は予算）

▽総務部、海開き（三千）ミス浜ツ子コンテスト（五万）港まつりカーニバル（十万）花火大会（十三万）すい泳大会（一万）砂の芸術展（五千）じやんがら念仏コンクール（三万）浴客慰安納よう映画会、すい離死没者精霊供養。▽施設部、遊園施設の整備（五千）海すいプール整備（七万）救助用施設（一万）駅構内宣伝施設、特設舞台の新設（一万）サマーハウスの補修（五千）臨時電話のか設（一万五千）海すい浴場の施せつ。▽宣伝部、総合キヤラバン隊参加（三万）宣伝アドバルンの掲揚（十万）夏まつりポスター、チラシ、パンフレツトの印刷（四万）草狩宣伝（五千）

勤評実施説明会開く

県教委石城出張所主催の小中校長会は十八日午前九時から平一中で開き、勤務評定実施計画についての説明をする。説明者は新井田県教育事務局秘書しつ長、風間県教委石城支張所長。

▼平市内校長会（会長橋本憲司氏）の六月定例会は二十二日みづ石山で開き、校外生活指導状況と教育上の諸問題について協議する。

▼石城地区保健婦研究会は十八日午前九時半から平保健所で開き栄養概論などを研究する。

中大弁論部の討論会

中央大学弁論部〝辞達学会〟が二十日から三十日まで平市をはじめ常磐地区の各市で青年会、婦人会をまじえて討論会を開くことになつた。日程はまだ決つていないが平市公会堂、湯本公民館、植田小学校、小名浜第一小学校の四カ所で開くことになつており、中大学生の三、四年生六十人が参加し、常磐総合開発について論じあう。

喧嘩沙汰絶えず　複雑な家庭の事情

内郷の連れ子殺し

さる十三日午後五時ごろ夕食のことから内妻とつかみ合いのけんかをし、そのつらあてにそばで寝ていた内妻の連れ子秀雄ちやん（三）を二メートル離れたコメ箱になげつけ死にいたらしめるという事件は世の子を持つ親に大きなショツクを与えた。三才になつても歩くことができなかつたといわれる今は亡き秀雄ちやん。親はどんな生活をしていたのか佐藤勝義（三四）＝内郷市宮町代＝と内妻相楽イネ子さん（三五）の二人のいきさつをさぐつてみた。

勝義は父宗吉さん（六九）の四男として昭和九年同市金坂に生れ昭和十九年母に死に別れた。また実兄二人を戦争でなくしその後父と実兄さん（三五）と三人で暮してきたが、家が貧しいため中学校へ通うころから気短かのため友達からきらわれ者にされ、学校には行つたりいかなかつたりしていた。しかし年老いた一人の父をたすけてやらなければならないと中学も三年ごろから村の土方仕事に勤め、東京、仙台に出かせぎに行くこともあつた。何んの楽しみもない勝義は働いて酒を飲むことが唯一の楽しみであつたが、それが今度のような悪のみちに引づり込むもとでもあつた。

内妻のイネ子さんは内郷市宮町滝に生れ宮小学校をでてぶらぶらしているうち悪友につきそわれ家を出て新潟、佐渡の飲食店に勤め、そこをふり出しに東京湯本、内郷などの飲食店をてんてんと渡りあるいた。イネ子さんはなんとか人なみにどろ沼の生活から足を洗い、まともな人間になつて結婚したいという望みでいるうち昭和二十八年結婚の話があり植田町に嫁になつてからは毎日毎日楽しい幸福な日が続いたがそれも長くはなかつた。

秀雄ちやんが産まれてまもなく別れなければならず、家へ帰るにも家族の冷たさに再びもとの飲食店に足を入れる身となつた勝義さんと知り合つたのは昨年八月ごろで今年三月一緒に暮そうと現在の所に六畳間の家を借り秀雄ちやんを連れて家庭の人となつたが性格の相違は重なるばかりでいつも喧嘩ざたがたえず、ついに罪のない子供を死にいたらしめる事件にまでなつた

父宗吉さんの話＝勝義は一日三百五十円から四百円になるから暮せないことはないが酒が好きでその日も私と二人で焼酎を飲んだ。丁度御飯がたりなかつたのでウドンの汁に水を入れすぎたため喧嘩になつた。死んだ秀雄は可愛そうだと思いますが、イネ子はそれほど子供が可愛そうだと思つてないと思います。

近所の人の話＝毎日朝から晩まで喧嘩がたえず秀雄ちやんのにくしみはとくにひどかつた警察へも知らせようと思つたが焼くの殺すのといわれて恐ろしかつた。亡くなつた秀雄ちやんに罪がないので可愛そうでなりません。

江名小の新築成る

磐城市江名小学校のしん築工事は総工費五千万円、中田工業（江名）三崎組（小名浜）磐城土建請負で昨年五月から張際作地内で進められていたが、このほど一千七百坪、木造モルタル二階建三棟、平屋二棟の立派な校舎が完成した。同校の旧校舎は明治六年に創立され、老朽甚しいため関係者から他地へのしん築が要望されていたもの。完成した校舎は二十六教室で二階から緊急の場合の昇降段が設けられ、各教室は採光が良いうえ水道が布設されて衛生面に重点が置かれておるなど、県下に誇る立派なもの。また校舎完成を記念して神戸工業から小型ラジオ（五球スーパー、イヤーホン付）二十台、木下工業清水建設からテレビ三台、にい潟鉄工から映写機（十六ミリ）一組の寄贈があつたほか同地区教育長中田武雄氏らによるオルガン四台グランドピアノ一台の寄贈があつた。

写真は江名小学校

四倉四業組合の新役員

四倉町四業組合（料理、芸妓）の総会は十三日午後一時から同町しん町旅館海気館に組合員二十名が集り、役員改選と本年度じ業計画など協議した。しん役員は次の通り。

◇組合長　豊田美孝◇副〃　吉田正◇会計　鈴木一郎◇幹じ　佐藤てい助、小湊正、にい田一男、吉田マツ、渡辺みどり、古河歌代。

わが家の

夏の健康診断

「お宅のゴミ箱は、こわれているしふたもないから早く修繕して下さい」と市の係員が度々お話しをしても、なかなかなおさない家があるという。或る家では、ゴミ箱のふたをキチンとしめ、周囲をはき清めており一週間目に集めにまわると乾いたゴミが八分目位入つているし、その側の小箱にはガラスびんやかんづめの空缶が入れてあつて処理に大変都合がよいから人夫がゴミ箱に敬礼して取つて行くという話をきいて感心してしまつた。

みんながこの様な気持で衛生に注意してくれたら本当に清い明るい街になるのだがなあ―。かれは或る時ふんがいしていうには、

「門がまえもいかめしく、築山があつて、家の中には高価なちよう度品がならび、流行の着物をきて、紅、オシロイに飾つた奥さまが座つていらつしやつたが、その家のゴミ箱にはハエが一ぱいたかり、下すいにはボーフラが乱舞し、便所からはウジ虫がはい出していたので、その家に入るのがいやになつてしまつた」と。これでは伝染病を飼つているようなもので何にもならない。ゴミ箱はその家の健康診断書であるとかれはいつている。

主人（五十二才）会社員。五時三十分起床、庭掃き植木の手入妻（四十八才）無職。五時二十分起床、朝食の仕度、片づけ二女（十八才）高女卒（洋裁研究中）五時二十分起床。部屋の清掃と食じ手伝二男（十六才）高校生。五時三十分起床、玄関掃き、下すい、ゴミ箱係。

「家では今年の夏は、きつと皆大元気で暮せるよ」と父が確信ありげに言いだした。「どうして」と私がきいたら「みんなで毎朝お掃除をして家の内外がきれいだし、便所には金あみを張つたし、お母さんはよく夜具を干してくれるし、せがれは下すいを流して呉れるからハエも蚊も出ないし、お前は夕飯に栄養料理を作つてくれるからね」と大変きげんがよいので、このときとばかり「お父さんボーナスが出たら三千えん頂戴、服地を買つて頂かないと学校へ行けないのよ」とたのんだら「うん」とおつしやつた。この頃父も元気になつたので気まえがいい。お母さんは笑つただけで何もおつしやらなかつたが、心の中では「三千えん損をしてしまつた。あれだけあれば皆で一日ゆつくり湯本温泉へ行けるのに、でも病気をしないのは一番いいわ」とお考えになつたに違いない。

平野英世

善意の世界えがく

大映　衣笠監督の野心作

大阪の女

解説＝大映カラー・総天然色「大阪の女」（〝泥人形〟改題）は八住利雄の連続テレビドラマ「女神誕生」を、名匠衣笠貞之助監督によつて映画化したものである。出演陣は、踏まれても裏切られても、倚、人生を底抜けに明るく生きてゆく女に京マチ子、その父親に中村雁治郎、かの女をめぐる二人の男に船越英二、高松英郎アプレ娘に小野道子、ほかに角梨枝子、山茶花究、丹阿弥谷津子、小夜福子、倉田マユミ、中村是好、賀原夏子らが顔をそろえている。さらに、舞台が大阪天王寺界隈に想定したげい人村であるだけに、そこの長屋にすむげい人に、は口八丁、手八丁、というべき登場人物を必要とするので、これらは、芦野家雁玉、林田十郎をはじめ大阪漫才界のベスト・メンバーが選ばれている。このように、歌舞き、しん劇、漫才界の異色キヤストが、ベテラン映画俳優とともに、衣笠監督のメガホンによつて、どのような多彩な演技を展開するか、この映画の見所である。

物語＝大阪市内の戦災をまぬがれた一画に、いつとはなく上がたの落語、漫才、浪曲、奇術、曲芸などのげい人達が集まつた。この土地を人は（げい人村）と呼んでいる。間口、九尺長屋の二階の一つに、お千は父親の半丸と暮している。半丸は曽ては人に知られた漫才師だが、相棒である女房の死後、高座を退き、ボテ人形造りに凝つている。半丸は元々、人が良くて酒と女に目がなく、だらしのない処があるが、お千はそんな父親に一言も苦情を言わなかつた。底抜けのお人好しであるかの女は他人の幸福を願うために生きているような女だつた。バンド・マンだつた最初の夫を急病で失い、父親との二人暮しを針仕事で支えている。のん気者の半丸も、そんな娘がいじらしいのか、嫁の貰い手を探しているが今日も半丸の計いで、お千は見合いの相手とは知らず米太郎に逢わされてしまつた。律気者で近所でも評判の米太郎は、前々からお千に好意を寄せていたのである。その頃曽て半丸の弟子であり、お千の初こいの人であつた宗二が久しぶりで大阪へ帰つて来た。宗二と逢つたお千はかれが昔とかわらず、自分のことを想つていてくれており、今後、かの女の相談相手になろうという話に、頬がぽうと上気してくるのだ。

或る日、お千は半丸から米太郎との縁談を切り出された。「阿ほらしい」と、お千は笑つたものの、熱心にすゝめる半丸の顔を見ると返じに困つてしまう。お千はこの話をきけると、宗二の家に行つてみた。宗二はいなかつたが、店先に一人の女がいた。お千のいぶかし気な顔に「私はこゝの者だつせ家内……といゝますのやろか」と言うと、二階にむかつて「あんたあ……お客さん…」と、甘つたれた声を出す始末に、お千はいたゝまれなくなり、駈け出して家に帰つた。この女はお妙といつて、闇引の現場を見付けられ刑じに追われた末、宗二の家に忍びこんで来たのだ。そしてお千と逢い苦肉の芝居を打つたわけである。

それから数日後、お千と米太郎の結婚式が行われた。列席者は仲人役の三造とお民、登世夫婦文福、ホームラン、染子、秋月米太郎の相棒施太郎、その他、男女の漫才師やげい人達が集まつて乱痴気騒ぎである。この夜お千はお民から宗二の家にとび込んで来た女の話を聞いた。そして階下で宗二に逢つたが、今更どうにもならない。「お千ちやんほんまに倖せになつてや」という宗二の言葉にお千はただ「へえ大きに、倖せになるようつとめます」と、素直にうなづくだけだつた。お千と米太郎の仲は、至極えん満であつた。然し幸福はつかの間であつた。寄席の帰途米太郎がお千の眼の前で、それも甘栗を買いに行く途中、自動車に轢かれてしまつたのである。お千は寝食を忘れて介抱したが、然し医者は、もうサジを投げていた。

半丸は米太郎のために損害賠償保険を受取りに出かけて、二万エンを受取ると、意気揚々とジャンジャン横丁に引きあげて来たが、大衆食堂の中に入つたのがいけなかつた。その上半丸のぜん盛時代を知つているおやじの口車に、うまい具合にのせられてしまつた。そして二万エンの札たばをみせびらかして、勘定を払つたのもまずかつた。その札たばを例の女、闇引きのお妙が見て眼を光らした。病院に現われた半丸は泣きべそをかいている。二万エンの金を女に取られてしまつたのである。涙が出そうになるのをこらえたお千は怒ることも出来ない。そしてかの女は米太郎の代りに働くことを心にきめるのだつた。かの女のそうした努力も空しく、米太郎はお千に一言詫びたい謎めいたことを繰返しながら死んでしまつた。お千にとつては泣いても泣き切れないのも無理のないことだつた。米太郎の御通夜、集まつた長屋の連中の話題は米太郎が死亡した為に損害賠償保険金が三十万エン、お千に入つてくるという話で持ち切りである。三十万エンと聞いてげい人村のれん中が色々とねらいをつける。笑福はこれを元手に米太郎の追善興行で、一商売をたくらむ。半丸と肉体関係をつけた染子、火事で家を丸焼にした宗二もまた、そして思わぬ大金が入るとあつて有頂天になつている半丸等の前に、赤ん坊を背負つた女、三上米太郎の妻と名乗るお糸が現われた…。

今晩のラジオ

◆NHK（第一）
七、三〇　三つの歌
八、〇〇　お父さんはお人好し
八、三〇　私は誰でしょう
九、一五　邦楽名曲選
九、四〇　時の動き
一〇、三〇　今宵歌えば

◆ラジオ福島
七、三〇　コロムビアアワー
八、〇〇　ワイドダイジエスト
八、三〇　歌うダイハツ
九、〇〇　宮田演芸会
九、三〇　銭形平次捕物
一〇、〇五　連続浪曲

◆NHKテレビ
七、三〇　私の秘密
八、〇〇　歌の広場
八、三〇　劇「花だらけの街」
九、〇〇　ヴアラエテイ
九、三〇　劇「ここに人あり」

今晩の映画

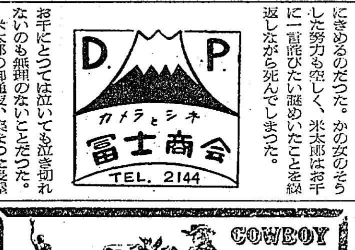
◆内郷
▼綴映劇　十七日迄
六、三〇　れん愛自由型
七、三〇　一丁目一番地
八、四〇　大江戸七人衆
▼第二いわき　十七日迄
六、三〇　明日は明日の風が吹く
八、〇〇　二等兵物語

◆四倉
▼国際劇場　十六日迄
六、三〇　愛すべき罪
七、四〇　森の石松
九、一〇　南蛮寺のせむし男
▼海盛座　十七日迄
七、三〇　としごろ
八、二〇　肉体の悪夢
▲東宝　十七日迄
六、二〇　肉体の悪夢
八、四〇　としごろ
▼世界館　十七日迄　電六六
六、五六　雪の渡り鳥
八、五五　有楽町で逢いましょう
▼東映劇場　十七日迄　電六五
七、〇六　デン助の陽気な靴みがき
八、三〇　花笠若衆
▼民劇　十七日迄　電一三三
七、三〇　お笑い夫婦読本
八、二七　社長三代記
▼ひかり座　十六日迄　電一三六
七、一〇　荒野の追跡
八、二〇　嵐を呼ぶ銃弾
▼聚楽館　十六日迄　電四二〇
六、三〇　モンテカルロ物語
八、三五　青春物語
▼平館　十七日迄　電四六
六、〇〇　アンコなぜなく
七、一〇　嵐を呼ぶ男
八、二〇　死の谿の脱出
▼平新東宝　十七日迄　電一六〇
六、一〇　水戸漫遊記
七、一〇　宇ちゆう怪人出現
▼植田館　十七日迄
二人だけの橋
美しき哀愁
悪徳
▼菊多館　十七日迄
一丁目一番地
風と女と旅鴉
かんざし小判

宝石の糸毛
ダイヤモンド毛糸
卸部 電354
小売部 電14
平銀座　ハシモトヤ糸店

D.P.
カメラとシネ
冨士商会
TEL. 2144

東宝
只今　前売中
大人¥70
高校¥55
日映スコープ
赤道直下一万粁
アフリカ横断
〔総天然色〕
珍らしく面白く、そして小供にもタメになる長篇色彩記録！
暗黒大陸といわれるアフリカに謎と夢を追つて往く早大遠征隊！　珍奇な黒人の踊り！　キリマンジャロの雄大な眺め！　目を奪う動物の群が大型画面いっぱいに描破される
☆文部省・青少年映審・他推薦多数☆撮影林田重男・今村俊輔・解説フランキー堺
―前売所―
金沢屋
平運動具店
平読書クラブ
キクヤ楽器店
三平デパート・
マルトモ書店
村山書店
金光堂時計店
民劇窓口
同時上映☆
東宝スコープ
ちやっきり金太
三木のり平
☆団体受付中☆
25日封切
民劇

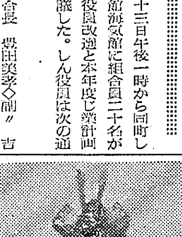


COWBOY
カウボーイ
美しい人への慕情を胸に秘め、涯しない荒野に生き抜くたくましい男の世界!!
グレン・フオード
ジヤツク・レモン
アンナ・カシユフイ
主演
監督　デルマ・デイヴイス
総天然色
コロムビア映画
殺し屋ネルソン
米犯罪史上にその名を残す兇悪犯人ネルソンの血に染む生涯！
ミツキー・ルーニイ　キヤロリン・ジヨーンズ
監督　ドン・シーゲル　（映配提供）
前売券発売中
眼には眼を　白夜
17日より　ひかり座

CinemaScope
総天然色
向う見ずの男
荒漠たる原野に相射つ必殺の拳銃
ドン・マレイ
ダイアン・バーシ
タイロン・パワー
マレーネ・デイトリツヒ
情婦
最愛の妻に無実の証言を拒絶された容疑者!!
17日ヨリ　聚楽館

銘菓
大段最中
平凡

電話一つで一里の出前
酒喜庵
電一七一番



久月作
特選
五月人形
夏家具は本店会場と四丁目店へ
……陳列特売中……
あるが
平銀座
TEL 223

堅い染と良い文字
キツト信用を頂ける…
御贈答用、記念品、賞、景品、団体旅行等に益々好評の…
名入ゆかた
一反　六〇〇円より
有限会社　馬目染工場
平市五丁目　TEL・558